

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
教育実習 Student Teaching		情報メディア学科	2年次	前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	4		和西 聡	
概要				
<p>「教育実習の研究」等の科目で学んだ教育指導方法を中学校の教育現場で実践することが目的である。単に教科科目を教えることに留まらず、教えることを通して生徒たちの心をつかみ、教師としての資質を培うことに意義がある。</p>				
到達目標				
<p>(1) 教育実習を通して、教育内容・方法について理解を深め、教育技術を活用できるようになる。  (2) 生徒理解に努め、生徒に対して愛情を持って接することができるようになる。  (3) 中学校理科の指導案を作成し授業を展開することができるようになる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>「教育実習の研究」の授業で培った「学習指導」、「生徒指導」を基に実施した模擬授業と中学校に出向いて実際の授業を観た「参観実習」をこの科目で実践に移す。  具体的には、中学校に出向いて中学校理科担当教員の指導のもとに、次の内容について実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 模擬授業で学習した教材研究、指導案作成などを実践に移す。</li> <li>2 中学校参観実習で得た中学校の教育現場の実際を体得する。</li> <li>3 学習してきた教職科目の全てを実践し、教員としての心構えを磨く。</li> <li>4 授業だけでなく、生徒指導、活動を通して生徒とのふれあいを体得する</li> <li>5 教育の職場としての学校における組織、対人関係について実践的に学ぶ。</li> </ol> <p>&lt;実施要領&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習先となる中学校を選定し、該当中学校の校長に「実習願い」を提出する。</li> <li>2 許諾されたら、実習日数と実習期日を話し合いの上決定する</li> <li>3 実習</li> <li>4 実習先中学校より評価を受ける。</li> </ol> <p>&lt;実習期間・時期&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先において異なるが4週間程度の教育実習を行う。</li> <li>・時期については実習先の中学校の都合による。</li> </ul>				
テキストおよび 参 考 文 献	「教育実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	中学校教諭理科免許状取得希望者の必修科目です。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 教育実習を通して、教育内容・方法について理解を深め、教育技術を活用できるようになる。	生徒の心理状態や理解度に対応し、適正で調和の取れた学習を進め、指導の要点が十分生徒に伝わっている。	生徒の心理状態や理解度に対応し、適正で調和の取れた学習を進め、指導の要点が生徒にはほぼ伝わっている。	生徒の心理状態や理解度に対応し、調和の取れた学習を進めようとするが、指導の要点が生徒にあまり伝わっていない。	生徒の心理状態や理解度に対応し、適正で調和の取れた学習を進めることができない。	教育実習先の評価による	50%
(2) 生徒理解に努め、生徒に対して愛情を持って接することができるようになる。	生徒理解に努め、愛情をもって接したり、公平な態度で接することが十分できている。	生徒理解に努め、愛情をもって接したり、公平な態度で接することがほぼできている。	生徒理解に努め、愛情をもって接したり、公平な態度で接することがあまりできていない。	生徒理解に努め、愛情をもって接したり、公平な態度で接することが全くできていない。	教育実習の記録による	40%
(3) 中学校理科の指導案を作成し授業を展開することができるようになる。	教材研究に積極的で、自ら種々の問題を発見し、研究しようとする熱意が十分感じられる。	教材研究に積極的で、自ら種々の問題を発見し、研究しようとする熱意が感じられる。	教材研究に積極的で、自ら種々の問題を発見し、研究しようとする熱意があまり感じられない。	教材研究に積極的で、自ら種々の問題を発見し、研究しようとする熱意が全く感じられない。	指導訪問時の評価による(教育実習の記録による)	10%